

令和2年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	男女共同参画課	事業No.	22
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画		9	個性を尊重し、多様な価値観を認め合いながら、交流する	
	分野別計画			飯田市の人権に関する施策及び人権教育啓発施策のあり方について（飯田市人権尊重審議会答申）	
			飯田市男女共同参画計画		
法令・例規等			人権教育及び人権啓発の推進に関する法律、人権擁護委員法、飯田市差別的撤廃と人権尊重に関する条例		
			男女共同参画社会基本法、飯田市男女共同参画推進条例、犯罪被害者等基本法		
事業目的	対象	市民、事業所			
	意図	多様性を理解し、人権を尊重し合う。また、ワーク・ライフ・バランスのとれた働き方・暮らし方ができる。			

2 事業内容

2年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	・コロナ禍にあってワーク・ライフ・バランスセミナー及びワーク・ライフ・バランス推進実践事例発信のためのセミナーはオンライン方式で開催しました。 ・女性の人権擁護に取り組み、毎月、法律相談を実施しました。 ・新型コロナウイルス感染症に係る誹謗中傷を防ぐため、人権擁護委員や女性団体、ボランティアの皆さんと共にシトラスリボンプロジェクトに参加し、啓発を行いました。 ・新型コロナウイルス誹謗中傷等相談窓口を設置し、相談にあたりました。 ・犯罪被害者支援センターの運営を支援しました。		女性のための法律相談					360			
			男女共同参画計画の策定・推進					845			
			女性団体活動補助					50			
			人権尊重・啓発推進事業					386			
			犯罪被害者等支援事業					196			
			会計年度任用職員					240			
					その他の経費			0			
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	審議会等委員への女性の登用率		%	28	28	28	28	29	29	29	30
	事業者・市民団体の表彰数（累計）		件	16	17	19	19	20	21	22	22
	女性のための法律相談件数（年間）		件	72	53	72	50	72	61	72	47
	市民のつどい参加者数		人	800	870	800	780	800	0	800	0
2年度 決算 (千円)	予算額		3,729	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		2,077								
	財源の 状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	0								
一般財源		2,077									

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)	
1	1	2	1	7	10	1	2,539	1,255	男女共同参画推進事業費	
2	1	2	1	7	1	3	161	68	会計年度任用職員人件費	
3	1	3	1	2	13	1	400	386	人権尊重・啓発推進事業費	
4	1	3	1	2	13	2	231	196	犯罪被害者等支援事業費	
5	1	3	1	2	1	3	398	172	会計年度任用職員人件費	
6										
7										
振り返り課題認識		・ワーク・ライフ・バランス推進実践事例発信のためのセミナーは、事業所が取り組むためのヒントがあり効果的だと考えますが、コロナ禍にあって事業所訪問ができない中で登壇事業所の選定が課題です。 ・新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナ」）の収束が見通せない中、シトラスリボンプロジェクトのような地道な啓発活動が引き続き必要です。								
上記の課題解決のための有効策		・訪問が可能かどうか事業所に対し丁寧な聞き取りが必要と考えます。 ・コロナ禍にあって、ワーク・ライフ・バランス推進のために何が有効か、関係部署と共に研究します。 ・新型コロナに係る誹謗中傷を防ぐ啓発は、地域や学校への広がりが必要と考えます。								
次年度に向けての取り組み		・訪問対象事業所を選定し、事前連絡等、丁寧な説明を行い訪問を実施します。 ・事業所訪問以外に、ワーク・ライフ・バランス推進のための有効な手段を関係部署と共に研究します。 ・新型コロナに係る誹謗中傷を防ぐ啓発に、関係部署と連携して取り組みます。								